

減税日本ナゴヤ REPORT

市民の皆さんからいい仕事をしたと評価されることが市長の報酬

市長給与800万・退職金ゼロ



広沢一郎
名古屋市長

令和6年11月24日、広沢一郎名古屋市長が誕生しました。11月定例会では広沢市長の所信表明演説の後、当会派からは田山宏之議員が登壇。広沢市長に対し、マニフェストの着実な実現に期待を込めた質問をいたしました。



↑ 田山議員の質問の様子は
こちらから



田山宏之議員

答弁

市民の皆さまに評価され「良い仕事をした」と認めていただけることが私にとっての最大の報酬です。そのための条例案を2月定例会への上程を目途に調整し、速やかに進めていきます。

拡大するのは、条例にも定められている通り、市民生活の支援や地域経済の活性化が目的です。



市民税減税10%実現



市民の81・1%が
減税5%を望んでいた！

※在名報道機関による「名古屋市長選2024 11.24 情勢調査」から



子どもたちの受験の過度なプレッシャーをなくしたい

市立中高一貫校設置

答弁

設置に当たっては検討すべき課題はあるものの、高校入試の影響を受けずに「ゆとり」ある安定的な学校生活を送ることができるなどの利点から、他都市の状況調査や課題整理を行ってまいります。

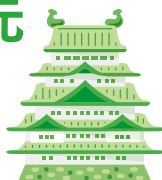
減税日本ナゴヤは
広沢新市長の
マニフェスト
着実な実現を
応援します。



風通しの良い風土を市役所各局室で作っていきたく考えます。反省すべきところは反省し、改めて真摯な姿勢で、ひとつひとつの課題に向き合いながら進めてまいります。

名古屋城天守閣木造復元

名古屋市民の宝、100年後の国宝



0歳児からの
保育料完全無償化



0歳児からの完全無償化を進めていくにあたっては、待機児童を発生させないことが大前提です。待機児童ゼロを継続するとともに、0歳児からの完全無償化実現に向けた道筋を早期に示します。



待機児童ゼロ継続はあたり前!!

日本最高の福祉サービスを
さらに価値あるものに

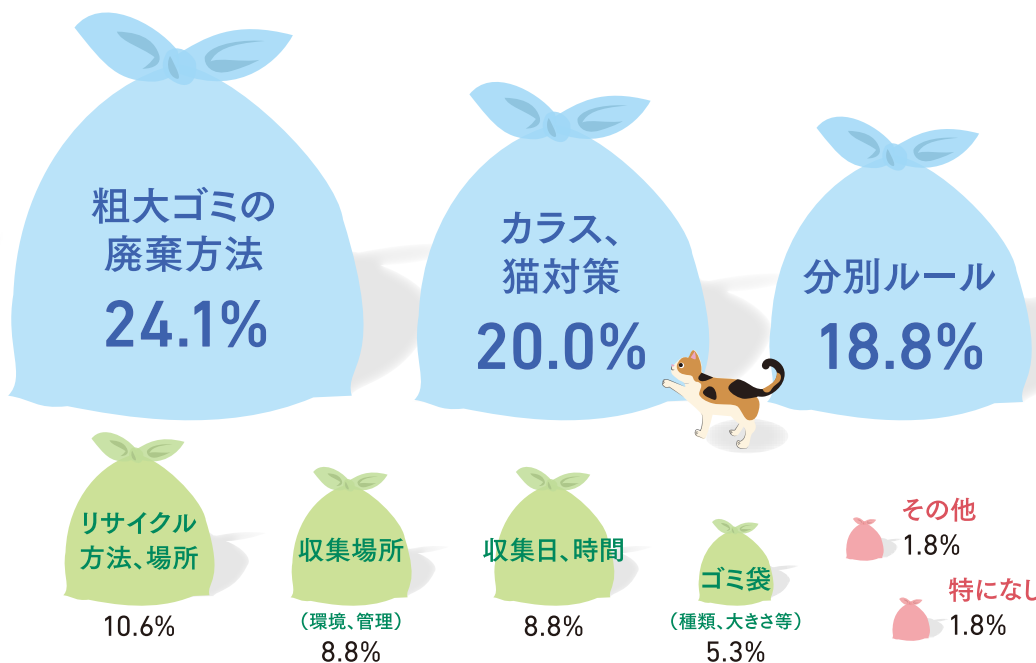
敬老パス利用拡充

答弁

敬老パス制度は、高齢者の暮らしを支え、健康にも役立つ名古屋市が誇るべき福祉施策です。さらに便利で使いやすいものにし、これまで以上に暮らしを豊かにする制度の拡充に取り組めます。

1分アンケートvol.2 結果報告

ゴミ収集について、市民の皆さまにどの内容に興味があるかがいました。
今後も随時、アンケート調査を実施し、市政に活かしてまいります。



●回答者 年代

70歳以上	4.0%
60代	20.8%
50代	30.7%
40代	20.8%
30代	14.9%
20代	7.9%
20歳未満	1.0%

… 議員からひと言

佐藤ゆうこ

福岡市は67年前から夜間収集をしています。メリットは「カラス対策」「交通渋滞回避」「犯罪抑止」など、課題は「焼却施設近隣の住民の理解」「収集作業時の騒音」などが挙げられます。福岡市の現状や課題への取組を調査したうえで、まずは試験的に一部の地域で夜間収集を始めるべきだと思います。今後もカラス対策に取り組めます。

豊田かおる

カラス等によるゴミ散乱は特定の場所で発生していることが多いと感じています。その原因を根絶するためには、現状を分析し、問題の認識を共有することが必要。ビルの所有者、利用者、地域住民、行政担当者からなる共同対策チームを設立し、各関係者の役割と責任を明確にし、協力体制の構築を促す働きかけが必要だと考えます。

大田とみひこ

粗大ゴミを出す日、月に1回ではつい忘れてしまったりで不便です。また分別が悪くて置き去りにされても理由がわからないこともあるようです。忙しくて中々ゴミのことまで気がまわらない方も多いかと思えます。もう少しわかりやすく、また持ち込みもできるようなシステムも必要ですね。

田山宏之

カラスによるゴミ散乱は、集合住宅やビルのゴミ捨て場で多く見かけます。網掛けだけでは不十分で、固定の大型ゴミ置き場を設置するよう行政からも各管理会社に働きかけが必要かと思えます。場合によっては助成金を議論する必要があるかと思えます。

大村光子

3000か所のうち特に被害が大きい場所に、住民へのチラシ配布、管理会社への働きかけなど、毎年160か所程度改善を図っています。アジア大会の時期も近いことから、綺麗な街並みでまた訪れたいと思っていただけるよう、何よりも市民の皆さまに安心して住み続けたいと思っていただけるように、カラス被害のさらなる改善に取り組めます。

大谷ともひろ

多くのご意見、本当にありがとうございます。分別ルールの徹底は重要な課題ですね。名古屋市では「さんあ〜る」という分別方法を手軽に検索したり、ゴミ収集日をお知らせする機能がついたスマートフォン用アプリをご利用いただけますが、分別ルール自体を他都市のものと比較検討する・簡易化する必要もあると感じています。

永井 ゆり

あらためて多くの市民の皆さまがゴミ収集にご理解、ご協力をいただいていることが実感できるアンケート結果でありました。粗大ゴミ、資源ゴミ、不燃ゴミ等々、多岐にわたるご要望や改善のご提案は、見過ごすことのできないものばかりであり、私自身これからもゴミ問題について深く学んでいきたいと思っています。

鈴木孝之

ゴミ出しや粗大ゴミの運搬など、ちょっとした困りごとを抱えた高齢者の皆さまについて、名古屋市では地域のボランティアと調整して、ゴミ出しや電球交換などの生活支援を提供する「地域支えあい事業」を行っている地域もあります。一度お住まいの町内会、またはお近隣の減税日本の市会議員にお問合せいただければと思います。

令和6年 6・9月定例会 本会議質問



教育 | 永井ゆり（緑区）

6月 特別な支援が必要な児童への早期支援

質問 わが子の小学校入学を控え、心配事や悩みを抱える保護者は少なくない。保護者も気軽に相談できる専門家が学校にいることを伝えるために、小学校入学前に行われる就学時健康診断の機会を活用し、なごや子ども応援委員会の周知をすべきではないか。

答弁 心理や福祉の専門家等からなるなごや子ども応援委員会は、様々な悩みや心配を抱える子どもや保護者を総合的に支援する活動を行っている。就学時健康診断の機会を捉えて応援委員会の周知を行うことは、子どもの小学校への入学を控え不安を感じている保護者に身近な相談先を知っていただくことにより、不安を和らげるとともに、必要な支援を早期に開始できる観点からも重要な取組である。各学校の現状を確認しながら、全小学校における就学時健康診断の機会を捉え、なごや子ども応援委員会の周知について検討する。（教育長）



キャリア | 大村光子（昭和区）

6月 市職員採用試験への適性検査の導入

質問 市民の生命・財産を守るためには、市職員として十分な人材を確保することが必要不可欠であるが、日本国内では人材不足、少子高齢化による労働力の減少が大きな課題となっている。そんな中、中小企業の3社に2社において「人手不足」という厳しい状況が続いており、その対応策として「採用活動の強化」をあげた企業が8割と最多であった。公務員採用についてはより厳しい状況が予想されるため、「公務員離れ」の要因のひとつとされる「民間企業との併願が難しい」点を改善しなければならない。「民間企業の9割以上と14政令市で行われている『適性検査』を導入し、併願しやすくすることで応募者の増加を図るべき」と以前から提案しているが、その検討状況は。

答弁 「令和7年度度の採用試験に向け、導入を検討していく」という答弁であったが、正式に導入が決定した。（人事委員会）



地域 | 佐藤ゆうこ（東区）

6月 東区役所の整備 その1

質問 当初は現区役所隣地に新築の予定で進められていたが、突如、愛知大学車道校舎への移転改修案が浮上。「建築基準法上、現地建替えは不可能」「新築の約6割程度の費用で改修可能」などと言われてきたが、校舎にアスベストが使われている旨の説明がないばかりか、改修費用にアスベスト除去などの費用は含まれていなかった。実際は新築より費用がかかる可能性も高く、市の隠蔽体質に区民の不信が募っている。令和6年6月に提出された95町内の自治会長連名による要望書では「正しい情報をしっかり公開し、東区民の意見に耳を傾けること」「現在の校舎改修計画を一旦白紙化し、新たな計画案を検討すること」が要望されているが、市長の見解は。

答弁 多くの区民が白紙に戻せと言っている以上、このまま進めることはできない。移転改修を前提とせず、「現地建替え」「移転新築」「移転改修」の3案について、専門家の意見も付して区民説明会を開きたい。（市長）



9月 東区役所の整備 その2

質問 私が独自に行った区民アンケート調査（回答1083件）では、現地建替え61.1%、校舎活用16.6%、移転新築14.3%であった。「すべてを比較して総合的に判断したいが何も示されていない」「区民にとって何がよくなるのか、現地建替えと移転改修との違いを教えてほしい」といった意見も多いなど、どの案がよいか判断する材料がそろっていない状況。事業全体での「技術、費用、運用、区民にとってのメリット・デメリット」を明らかにし、総合的・相対的な3案の比較を区民に示すべきと考える。市長にとって望ましい区役所整備とは。

答弁 私としては、某大型ショッピングセンター内と現地改修した建物とで区役所機能を担うのはどうかと考えている。区民が「便利になった」「これでよかった」と言える区役所にしたい。（市長）



環境 | 豊田かおる（中区）

9月 ゴミ拾い活動の輪の推進

質問 ゴミ拾い活動を楽しく推進することによって、参加者のゴミ拾い活動に対する意欲が向上し、ポイ捨てをする個人のモラルの低下の防止や、他人や環境を思いやる気持ち、まちを美しくする意識の醸成につながると考える。現在行っているプロギングも積極的に行いつつ、他都市が導入している「アプリを活用したゴミ拾い活動の輪」を推進する呼びかけをしてはどうか。

答弁 近年では、健康と環境の両方に優しく、楽しく参加できる新しいポイ捨て防止活動としてプロギングを実施し、効果をあげている。昨年度実施したコンビニとの連携による広報啓発は効果的であると考えているが、SNSの活用もひとつの手段である。ゴミ拾い活動の輪が広がり、ポイ捨てをしてしまう人の意識が変わるよう、他都市の状況を参考にしながら、より効果的な広報啓発を検討していく。（環境局長）



O-EN会議

昨年度「O-EN会議」と名付けた市民の皆さまとの意見交換の場を設けました。
おおむね年4回を目標に開催を続けています。

O-EN会議
第2回

女性のキャリアについて (令和6年5月22日開催)



名古屋市が制作した関連資料や民間シンクタンクのリサーチデータをお配りしました。

福祉の現場で働く女性、起業を目指す女性など、子育てをしながら働く方を中心に、市民10名と議員4名での会議を開催しました。「名古屋は特に女性の独立志向が弱く、起業という選択肢は少ない」「親の姿を見て育つので、女性は家庭に入るという意識があるのでは」「子育てとの両立が社会として当たり前になるような意識改革が必要」「経営者の考え方も、古い時代のまま止まっている企業が多く存在する」など、日頃抱える女性ならではの職場の問題点や自身の悩み、市政への要望など、皆さん初対面ながら話題は多岐にわたり、予定時間を超えて大いに盛り上がりました。日頃出会う接点のなかった方々同士の交流は、各自の新たな発見の場となったことと思います。出席した議員にとっても有意義な時間となりました。

O-EN会議
第3回

男性の育児参加について考える (令和6年9月6日開催)



第2回から180度転換し、今回は男性と育児の問題を取り上げました。そこで育児に携わる市民男女5名にお集まりいただき、当会派議員5名と意見交換をしました。「男性の育休取得への職場の理解促進が重要」「早く産休に送り出してあげられる職場の環境づくりが大切だ」「近年の男性の育児参加は重要視されながらもまだまだ社会はその考えに追い付いていないと感じる」「育休の目的を教育する場づくり、子どもが生まれる前から親になる準備ができる場が欲しい」「地域での関係性が希薄になっている時代だが地域全体で子育てを応援し、住民皆で子どもを育てられるようにできないだろうか」「パパもママも孤立しないで子育てをしていきたい」など、実体験に基づいた貴重なご意見をいただきました。皆さんの意見を胸に刻み、日本一子育てしやすいまち名古屋を目指します。

私たちが減税日本ナゴヤのメンバーです。

広報委員長
永井ゆり
(緑区)

副政審会長
大谷ともひろ
(東区)

財務委員長
佐藤ゆうこ
(東区)

幹事
大田とみひこ
(西区)



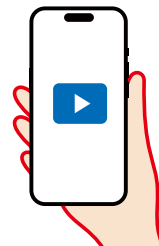
政審会長
豊田かおる(中区)

幹事長
鈴木孝之(天白区)

団長
田山宏之(北区)

副団長
大村光子(昭和区)

減税日本ナゴヤ
YouTubeチャンネル
はこちらから！



O-EN会議の様子を視聴可能です。

ご意見をお聞かせください。

市政へのご要望、お困りごとなど
なんでも結構です。

〈FAX〉052-972-4570

〈WEBから〉



会派の最新情報はこちら

〈減税ナゴヤ公式サイト〉

<https://genzei758.com/>